

基本方針04

しなやかで持続可能なうきは



DXやGXなどの新たな技術を活用し、行政サービスの質と効率を高めます。災害に強く、多文化が共に暮らす環境を整備し、時代の変化に柔軟に対応できる持続可能なまちを目指します。

現状と課題

- 少子高齢化や財政制約が進行し、公共サービスの維持や地域機能の継続に困難を抱えています。
- 防災・減災、インフラ老朽化対策、多文化共生といった現代的課題に加え、今後起こりえる新たな地域課題への対応力が問われています。
- 地域単独での対応には限界があり、広域的な連携による効率的な行政運営と、時代に即した地域マネジメント体制の再構築が必要とされています。

対応方針

- うきは市は、広域連携を基盤とした効率的な地域運営と、時代の変化に柔軟に対応できる地域づくりを目指します。
- 老朽化する社会インフラの更新や防災力の強化に加え、デジタル技術の活用による住民サービスの質の向上を図ります。
- 多文化共生のもと、誰もが安心して暮らせる地域環境の実現に努めます。
- 地域住民の参加を促し、市民協働による地域経営を強化します。

KPI

市公式LINE登録者数を11,505人以上



施策1

スマートうきは構想
「デジタル共創まちづくり」

施策2

安全・安心の備え
「うきは防災力アップ計画」

施策3

共に生きる社会へ
「うきは多文化共生プラン」

施策1

スマートうきは構想 「デジタル共創まちづくり」

基本的方向

- 行政手続きのオンライン化や高度な情報処理とそれに基づき判断や指示を行うスマート化を進めて、市民の利便性と行政効率を高めます。
- 高齢者向けのデジタル支援や学校・地域でのICT教育を推進し、デジタルデバイド（情報格差）の解消を目指します。
- 地域住民と行政が共に創る「スマートまちづくり」を展開し、持続可能な地域基盤を整備します。

KPI

窓口での平均待ち時間を2分以上短縮

主な事業

- RPA や生成 AI 等を活用した行政事務のデジタル化
- 窓口機能のデジタル化
- 各申請・手続き講座（補助金、交付金等）
- 文化事業・スポーツ事業の予約管理の電子化
- 新たな技術導入による生産性向上（スマート農業等）

施策2

安全・安心の備え 「うきは防災力アップ計画」

基本的方向

- 地震・豪雨などの自然災害への備えとして、防災訓練や避難計画の見直しを定期的に実施します。
- 地域の自主防災組織の育成や、防災教育の推進により、地域全体の防災意識を向上させます。
- 収穫前の果物などの大量窃盗事件が近年多発しており、警察等とともに盗難被害防止の取組を強化します。

KPI

地域における防災訓練・講習会実施件数を35回以上

主な事業

- 防災訓練の強化・広域連携
- ハザードマップの見直し
- 避難所の機能強化（バリアフリー・多言語）
- 地域防災リーダー育成プログラム
- 市内要所への防犯カメラの設置

共に生きる社会へ 「うきは多文化共生プラン」

基本的方向

- 外国人住民との共生社会を目指し、生活支援、多言語対応の窓口、文化交流イベントなどを通じて、相互理解と協力の地域風土を育てます。
- 行政サービスへのアクセス支援や、日本語学習の場の整備により、外国人が地域の一員として活躍できる環境を整備します。

KPI

人権に関する学習会や講演会に
複数回参加した方の割合を90%以上

主な事業

- 人材不足分野での外国人材雇用と日本語指導や生活支援窓口の強化
- 多言語対応の情報発信
- 文化交流イベントの開催
- 日本語学習教室の支援